

青森市議会だより

第4回 定例会の報告
令和5年11月30日～12月26日

青森市議会議員：自民クラブ

柿崎 孝治



事務所：〒038-0059 青森市油川大浜57-2 電話番号：017-752-9264 (FAX兼用) 携帯番号：090-4887-1907

令和5年度12月補正予算案を可決しました

今期定例会では、令和4年度から持続する食料費や光熱水道費等の物価高騰に直面する全ての子育て世帯に対し、児童一人当たり3万円の『子ども・子育て世帯応援金』の給付に要する経費、令和4年から採苗不振等の影響を受けたホタテ漁業者等に対する緊急支援に要する経費等を計上した一般会計補正予算案が提案されました。市議会では、これらの提案について、全て原案の通り可決し、補正後の令和5年度青森市一般会計予算は次の通りとなりました。

◀ **令和5年度青森市一般会計補正予算額……64億269万3千円** ▶
補正後の予算額……1千349億5千627万3千円

ホタテの養殖が盛んな陸奥湾では、今年は記録的な高水温の影響を受け、ホタテが稚貝を中心に大量に死んでいて、来年以降の水揚げの減少など影響の長期化が懸念されています。

陸奥湾の高水温によるホタテガイへい死被害に対する取組について

10月下旬から11月上旬にかけ油川、奥内、後潟の漁業者・加工業者を訪れALPS処理水放水での中国への輸出に関して、高水温被害を受けているホタテの稚貝について聞き取り調査を行っています。

11月16日、文教経済常任委員会の委員として奥内漁港を訪れ、青森市漁業協同組合の澤田繁悦組合長、後潟漁業協同組合の山口隆治組合長から説明を受け、沖合の養殖施設から引き上げた稚貝を確認しました。

11月24日、所属する会派自民クラブのメンバーとして西市長を訪れ、今夏の陸奥湾の高水温被害を受けたホタテガイ漁業者への支援を求め、要望書を提出しました。

- 1 漁業協同組合と漁業者が令和6年以降も継続してホタテガイ養殖を行えるよう、ホタテガイ母貝確保等による養殖環境を整備する。
- 2 ホタテガイへい死により漁業収入が大幅に減少することが見込まれることから、漁業者負担の軽減を図るための支援策を検討すること。
- 3 漁業協同組合およびホタテ加工業者の経営安定を図るための支援策を検討すること。
- 4 国や県に対し、高水温被害を踏まえたホタテガイ養殖等に係る更なる調査・研究の推進及び漁業者支援を働きかけること。



11月15日油川にて



11月16日文教経済常任委員会でのへい死した稚貝の確認



11月24日自民クラブメンバーと西市長訪問要望書提出

